



高山市民文化会館の駐車場

・地方債の繰り上げ償還
5064万円

・基金の積立
19億2696万円

・駅周辺整備事業費などの減額
△7億5200万円
合計22億7619万円
は、普通交付税11億4942万円、国の支出金△1900万円、県の支出金5億9967万円、繰越金10億8831万円、寄付金196万円、基金繰入金△8億4937万円、※

臨時財政対策債など市債3億5200万円を財源として支出する予算の補正。全員一致で可決しました。

主な質疑は次の通り。

【問】図書購入は景気対策としての意図があるのか。書店組合などより購入するののか。

【答】そのように予定している。

【問】文化会館の駐車場はいっぱいになると駅西まで行くこととなり、障がいのある方には不便だが、対策はないのか。

【答】調査し検討したい。

※臨時財政対策債とは？

本来は国が地方交付税などで市に交付すべきものを、財源が無いので市が代わって借り入れする。借り入れたものは次年度以降の交付税などで加算される。

〔議第18号〕平成22年度高山市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

・レセプト電子化システム導入の負担金
439万円

・療養給付費の返還金
1325万円

・後期高齢者の負担金
176万円

・賦課徴収費の増額
200万円
合計2140万円は、国の支出金715万円、県の支出金12万円、繰越金1413万円を財源として支出、直営診療施設の医薬品衛生材料費の1500万円は、繰越金を財源として支出する予算の補正。全員一致で可決しました。

〔議第19号〕平成22年度高山市下水道事業特別会計補正予算(第2号)

下水道施設工事費の

入札差額△1億3000万円を、国の支出金△3800万円、下水道債△1億3500万円、繰越金4300万円を財源として支出する予算の補正。全員一致で可決しました。

主な質疑は次の通り。

【問】入札率が70%を切っているようだが、事業者が厳しい。対策はとっているのか。

【答】現在は低入札価格制度を導入し、81%程度となっている。

〔議第20号〕平成22年度高山市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

簡易水道施設建設費の入札差額△2000万円を、簡易水道債△4720万円、繰越金2720万円を財源として支出する予算の補正。全員一致で可決しました。

〔議第21号〕平成22年



度高山市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

・高額介護サービス費の増額
160万円

・在宅介護慰労金の増額
300万円

・介護認定審査会の通
信手数料など
140万円

合計600万円は、国の支出金160万円、県の支出金80万円、一般会計からの繰入金220万円、繰越金92万円、支払基金交付金48万円を財源として支

出する予算の補正。全員一致で可決しました。

主な質疑は次の通り。
【問】もつと一般会計から繰り入れるべきではないのか。

【答】介護保険の支えあいで対応すべきものだと考えている。

〔議第33号〕公平委員会委員の選任について

公平委員会委員の畑中正郎さんを引き続き選任することに同意を求められ、全員一致で承認しました。